

2021年10月15日

輸送動向について（2021年度上半期）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、8月中旬の大雨により山陽線等が9月初旬まで不通となった影響を受け、わずかに前年を下回った。

食料工業品は、飲料等を中心に飲食店の営業制限等により減送となったほか、農産品・青果物は北海道地区の干ばつに伴う作柄不良により低調となった。エコ関連物資は、建設発生土の輸送が7月半ばに終了したため前年を下回った。

一方、積合せ貨物は3月からのブロックトレイン運転開始等により増送となったほか、紙・パルプは、前年の大幅な減産および災害影響の反動により前年を上回った。結果、コンテナ全体では前年比99.9%となった。

車扱は、春先の気温が高く推移したことで灯油が発送減となった一方、セメント・石灰石等が堅調に推移し前年を上回った。車扱全体では前年比100.7%となった。

コンテナ、車扱の合計では、前年比100.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	8,968	8,979	99.9%
車扱	3,481	3,458	100.7%
合計	12,450	12,437	100.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	656	721	-65	91.0%
	化学工業品	791	762	29	103.7%
	化学薬品	614	582	32	105.5%
	食料工業品	1,468	1,550	-82	94.7%
	紙・パルプ	1,036	987	49	104.9%
	他工業品	625	626	-1	99.9%
	積合せ貨物	1,469	1,390	79	105.7%
	自動車部品	316	322	-6	97.9%
	家電・情報機器	149	159	-10	93.4%
	エコ関連物資	267	314	-47	84.9%
	その他	1,578	1,564	14	100.9%
	コンテナ計	8,968	8,979	-11	99.9%
車扱	石油	2,303	2,338	-35	98.5%
	セメント・石灰石	616	589	27	104.7%
	車両	354	360	-6	98.5%
	その他	208	172	36	120.8%
	車扱計	3,481	3,458	23	100.7%
合計		12,450	12,437	13	100.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)